

かみねっちょ新聞

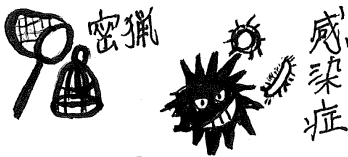
令和3年 9月号

～あなたの知らない飼育員の世界～

今、日本では
外国産の野生動物
をペットにするのが
大人気!



でも、これには色々な
問題があります。



逃げ出した個体が野生化
して生態系がかわれる。



ちゃんとしたペットショップで
買うし、飼い方も本々ネット
で勉強してるから
大丈夫でしょ?

ちゃんとした
ペットショップは
どうやって見分ける?



ネット
実物は
だいぶ違う

エサは?
おうちでは?
本当にそれで
幸せ?

もちろんすでに飼っている人は
最期まで責任をもって飼いま
しょう。

参考資料:
NPO法人 野生生物保全論研究会 HP
WWF JAPAN HP

これからペットを飼おうとして
いる方はこの話を思い出して
頂けると幸いです。

生息地でも飼えない
重カ物が「ペットショップで
手に入る国「日本」

「野生生物の消費国」
とも呼ばれています。
それってどーなの?

Australia

フクロモモンガの生息地
オーストラリアでは自国の
野生動物を
緊急保護以外で飼う
ことを禁止しています。

動物園は
OKです!

獣医のつぶやき

～骨のお話③～

さて、骨のお話も3回目となりました。

今回はネコ科動物の特徴的な頭の骨、特に歯について少しだけお話ししたいと思います。

かみね動物園には、ライオンとトラの2種類のネコ科動物がいます。どちらも大型の肉食獣で基本的にお肉しか食べません。そのため骨は肉を食べるのに特化した形をしています。200kgを超えるトラも体重数kgのイエネコも共に立派なキバ(犬歯)を持っています。この歯は主に獲物を仕留める時に使用する歯です。そして特徴的な大きな奥歯を持っています。ネコ科動物たちの食べる様子をご覧ください。変わったことはありませんか?大きなものを食べる時に、彼らは奥歯を使って食べます。奥歯は人のように噛み合っておらず、ハサミのように肉を剪断するような形状になっています。なので、彼らは何回も噛んだりせず、丸呑みできるサイズになったら丸呑みしてしまいます。ネコ科動物の頭の骨は資料館で展示している



ので見に来てね☆

ライオンのもぐもぐタイムで食べ方も

観察してみてもね☆

(立派な犬歯が特徴的なトラの骨、
資料館で展示中☆)

獣医師 川瀬

10月の予定

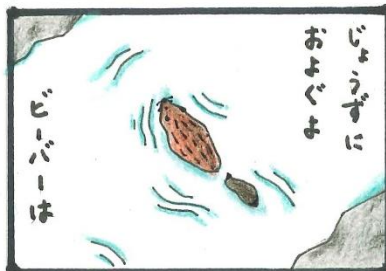
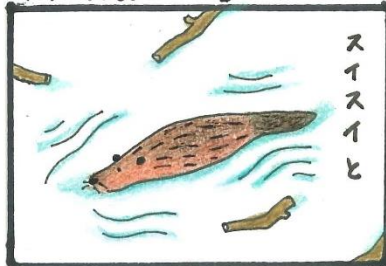
- ・3日 アジアゾウ ミネコ誕生日会
- ・24日 テナガザルの日
- ・30、31日 ハロウィン

詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください→

または 0294(22)5586 まで



「すいすい すずむよ ビーバーは」 さく・なめかわ



獣医さんが尻尾から採血するためのトレーニングです。ごほうびには イモがもらえます。



みなさま、おなじみ!?

ビルマニシキヘビ ユウサク

当園で飼育しているアルビノのビルマニシキヘビ、ユウサクは今年で28歳になります。平均寿命が20~30年といわれているビルマニシキヘビですが、とても長生きする場合もあるので、長寿といえるかは不明です…。

以前はヘビの魅力を伝える一片を担ってくれていたもので、覚えている方も多いのではないのでしょうか。10年前ぐらいから活躍してくれているので、触った記憶があるなあ~という方は、まさしくユウサクと触れ合ったのでは!?

今は「はちゅうるい館」で暮らしていますが、ふれあいが再開すれば、またみなさまにヘビの魅力を伝えるために活躍してくれるかもしれません。

